

米取扱量 日本一!

JA秋田おぼこの米取扱量は**80,000トン**にも及び、日本一を誇っています!
農家個々の米づくりに取り組む真剣な姿勢、そして指導員の高い技術指導や購買部門での独自の肥料の推進など、日本有数のお米の産地としての誇りを胸に、高品質でおいしいお米の生産に努めています。

結果、米卸業者からも高い評価を得ており、産地指定率は150%となっています。



米にこだわったおぼこだからこそできる“企画”

おぼこの匠

おいしいあきたこまちの生産者上位10名を『おぼこの匠』として認定する企画です。匠が生産したこだわりの米は、希少な選り米として関東方面でプレミアム販売しています。選ばれた農家のメリットとして、面積、数量は限定されますが通常の農家買入価格のおよそ1.5倍の価格となります。

“おぼこの匠”“ゆめおぼこ日本一コンテスト”の入賞という称号は生産者の自信と生産意欲の向上、おぼこ全体の食味や収量、生産技術の底上げにも繋がっていく、まさにおぼこを象徴する企画です。

ゆめおぼこ日本一コンテスト

平成20年に県の奨励品種に採用された“ゆめおぼこ”を用いた企画です。

決められた面積からの収量と食味値など総合し10名を決定する良食味・多収というゆめおぼこの品種特性を競うコンテスト。



ライスターミナル (品質向上物流合理化施設)

生産者から出荷された米を、各種機器を通して調製し、米の品質をあげるための施設です。自動低温ラック式保管装置で集中管理し、品質・食味の保持と、消費者への安定供給を可能にした、おぼこ自慢の施設です!

収容能力 **9,600トン!**
(16万俵)



水稲種子温湯消毒施設

水稲の種子を従来 of 農薬を用いた処理のかわりに、お湯で殺菌処理する技術を取り入れ、プラント化した秋田県初の施設です。日本有数の米どころとしての自覚と責任、そして環境にやさしい米づくりに積極的に取り組んでいるおぼこならではの施設です。

輸出用米

“原点は農家組合員のために”

新規需要米として扱われ、転作としての作付けが可能であることから、農地の有効活用や所得向上を目指し、おぼこでは輸出用米の生産・販路拡大等についても取り組んでいます。平成24年産米については8,765俵(526トン)の販売実績を見込んでおり、主な輸出先は 香港、台湾、アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパで、今後はロシアやドバイも販売先として視野に入れていきます。

あぐりスクール

管内の小学校を対象とした、JA秋田おぼこの食農教育です。

田植え、稲刈り、田んぼの生き物調査などを通して、子どもたちに農への興味関心を高めてもらうための取り組みを行っています。ただ農を体験し学ぶというだけでなく、地域と関わることの大切さ、絆について感じてもらう貴重な場となっています。

